

SDG'sには17の目標があります あなたは何に関心がありますか

夏休みに、SDG'sについて、何か調べたり、活動したりしませんか

最近「SDG's」という言葉をよく耳にします。

SDG'sとは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

内容としては

- ① 貧困、飢餓、教育などいまだに解決していない社会面の開発について
- ② 資源の有効活用、働き方改革、不平等の解消などの経済成長について
- ③ 地球環境、気象変動など地球規模で取り組む環境について

その目標は17あり、169のターゲットから構成されています。これは、発展途上国のみならず、先進国も関わっていく普遍的(すべて者に共通している)なものであり、日本でも積極的に取り組んでいます。地球上「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

ちょっといい話

そこで、久しぶりの「ちょっといい話」なのですが、庄内中学校の1年生に、毎日の登校時に「ごみ」を拾ってきてくれる生徒が2名いるという話です。これぞ、SDG'sですよ。

素晴らしい行動です。SDG'sの目標からいいますと、11-6「住み続けられるまちづくり」の「都市に住む人が環境に与える影響」や目標12-5の「つくる責任、つかう責任」の「ごみ問題」に当てはまるのではないのでしょうか。誰に言われることなく、自分たちで感じ、アピールするわけでもなく、行動する。これこそが持続可能な行動ですよ。凄いです。

その2名は1年生の宮崎さんと樋口さんです。

そこで、二人の生徒に服部先生がインタビューしてくれました。



—いつからごみ拾いを始めたのですか？

6月のはじめからです。今は登校中に通学路のごみを毎日拾ってきています。

—なぜ始めようと思ったのですか？

大きなごみが通学路に落ちていて、気になりました。ちょうど技術でプラごみが環境に良くないというのを勉強していて、いけないと感じました。2人で相談して、樋口さんがちょうど袋を持っていたので、拾ってもっていきました。

—ごみ拾いを通してどんなことを学びましたか？

思った以上にごみが多くて驚きました。普段見ないような狭いところも意識してみるようになり、気づけることが増えたと思います。

—このことを通して庄内中の皆さんに伝えたいことはありますか？

ごみを捨てることは絶対にしないでほしいです。

まずは、自分の身近な生活から、実際に何ができるかSDG'sに取り組んでみてはどうでしょう。

3年生は、今後、面接や作文等でSDG'sに関わることがあるかと思います。夏休みの間に何か行動にうつし、言葉や文字で説明できるようになっておくことをアドバイスします。(きっかけはどうあれ、169のターゲットのうち、1つでも関われば、これから新しい何かが見えてくるでしょう。)